

さくらんぼ号外

今年度、中学部では理科・社会科の学習に力を入れて取組を進めてきました。様々な学習の一部ですが御紹介します。

1年生



「砂鉄とは何か」を学んでから、校庭で砂鉄集めをしました。イラストが描かれた紙の上に集めた砂鉄を置いて、裏面から磁石を当てると、砂鉄が動いて思い思いの形にできることを楽しみました。また、磁石が付く物と付かない物を予想して、それが正しいかどうかをみんなで調べました。クリップを使った魚釣りゲームも磁石の性質を利用してできる遊びであることが分かりました。

真冬に屋外の流し場に洗面器を置いて、水は温度の変化によって氷や水に変化することを確認しました。登校後すぐは、かちかちに凍っていた氷が、暖かな日差しを浴びると、徐々に溶けて水に戻っていくこと、日陰にある氷はなかなか溶けないことなどを学びました。そこから、雪が降った後、「日陰は道路が凍っていることもあるから、歩くとき気を付けようね。」と話を発展させることができました。

2年生



音の伝わり方の学習では、糸電話を作り、糸が音(友達の声)を伝えることを体験しました。大太鼓の上にビーズを置いて太鼓をたたくと、ビーズが細かく震えるのを見て、音が出るときには物が震えることを知りました。



ひまわりの種をまいて、成長の様子を写真と文章で記録に残しました。家の庭に植え替えたひまわりは190cmまで大きくなりました。



地域の様子を知る学習では、特産品である日光彫りについて調べました。自宅で見たとある手鏡やお盆など身近な物の歴史や工程などを知ることができました。

JR今市駅周辺の地図を絵や写真を使って作成しました。道路と建物だけではなく、歩行者や乗り物(車やバス)、信号を加えることで、より分かりやすい地図を作ることができました。「スーパーの近くのバス停からバスに乗って帰ってきた。」「一列に並んで傘をさして歩いた。」と思い出しながら地図づくりに取り組みました。

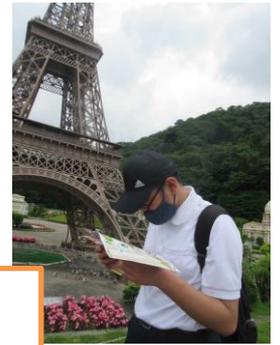
3年生



モンシロチョウの卵から幼虫が生まれ、姿や色が日を追うごとに変化し、さなぎになり、ちょうになるまでを観察しました。大事に育てた幼虫がちょうになり、校庭に放すときには、ちょっと切なくなる場面もありました。



最初に乾電池と豆電球を使って、電気を通すつなぎ方を探しました。正しいつなぎ方が分かった後には、いろいろな物を準備して、電気を通す物、通さない物調べをしました。いろいろ試行錯誤しながら、紙や木は電気を通さない、金属は電気を通す物が多い、というところまで意見がまとまりました。



事前学習で、インターネットを使って展示物を調べてから東武ワールドスクエアを見学しました。日本の文化との違いなども話題にしながら、世界の様々な建築物を見学しました。

校外宿泊学習



オリエンテーリングでは、各班に渡された敷地内の地図を見ながら各ポイントを探し出し、それぞれのミッションをクリアしていきました。「こっちに〇〇があるから、ここを曲がろう。」「違うよ、まっすぐだよ。」などと意見を出し合いながら友達と協力しコースをまわっていました。コース内に設置されている地図に興味をもち、指をさしながら見ている様子もありました。



移動科学教室



11月には、宇都宮市にある子ども総合科学館の職員の方による移動科学教室が行われました。今年度はサイエンスショー「超低温の世界（液体窒素）」を見学しました。様々な実験を見ることにより科学の不思議に触れ、興味・関心を高めることができました。